

(4) 類似事業の有無

- ・類似事業無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	80,915	有床診療所、病院及び有床助産所のスプリンクラー等の整備に対する補助
合計	80,915	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県保健医療計画（第6期）

第3章 医療提供体制の確保の充実

第1節 救急・災害医療対策 1 救急医療対策、2 災害医療対策

第2節 へき地医療対策

(2) 国・他県の状況

- ・厚生労働省は、緊急度の高い事業として、医療施設等施設整備費補助金を交付し、有床診療所、病院及び有床助産所のスプリンクラー等の防火対策を推進している。

(3) 後年度の財政負担

- ・本補助事業については、県負担無し。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・保健医療計画上も医療提供体制の確保の充実は明記されており、また、国庫補助メニューを活用し、全県的に、有床診療所、病院及び有床助産所のスプリンクラー等の防火対策を推進していくものであることから、県が事業主体となることは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
有床診療所、病院及び有床助産所のスプリンクラー等の防火対策を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
有床診療所等スプリンクラー設置施設数	16 (H25)	40 (H29)	41 (H30)	44 (R01)	45 (R02)	98%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
有床診療所等（2施設）に対し、スプリンクラー整備等補助（予定）。

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
有床診療所等のスプリンクラー等の整備を支援することにより、防火対策を推進した。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	福岡市内の有床診療所で発生した火災事故を踏まえ、同様の火災が発生した際の甚大なる被害を防ぐための緊急対策とし実施されるものであり、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	有床診療所等におけるスプリンクラー等整備は、着実に増加しており、防火対策は強化されている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	事業実施主体において入札等により経費を節減しており、効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 スプリンクラー等整備に係る費用負担の他、工事期間中、一部病室を使用することができないなど、施設運営面での負担も大きい。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 有床診療所等のスプリンクラー等の整備を支援し、防火対策の強化を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	